

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和元年 8月 8日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	
	議員名	中田 哲
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田哲	
視 察 先	愛知県稲沢市	
調査事項 (調査目的)	稲沢市あじさいまつりについて	
日 時	令和元年 7月 24日 (水) 13:00~15:00	
視察先対応者	稲沢市 経済環境部 商工観光課 課長 足立 和繁 経済環境部 商工観光課 主幹 横井 利幸 経済環境部 商工観光課 宗宮 千晶	
添付資料	・あじさいまつりパンフレット ・稲沢観光ガイドマップ ・稲沢市観光ガイドブック ・稲沢市議会の概要第 ・28回あじさいまつり事業計画(案) ・28回あじさいまつり実行委員会収支(案) ・稲沢あじさいまつり実行委員会規約 ・稲沢市市勢要覧	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	令和元年 7 月 24 日 (水) 13 : 00 ~ 15 : 00
視察先	愛知県稲沢市
調査事項	稲沢市あじさいまつりについて
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>平成 4 年に性海寺から市に対して庭園の無償借地の提案があり、これをきっかけに市は性海寺を歴史公園に指定。</p> <p>⇒災害などにも強いとされるあじさいを植え、観光名所として育てる計画を策定。</p> <p>年々来場者が増え『あじさいまつり』に発展。</p> <p>来場者は市内外から、まつり開催期間中に総勢 5 万 4 千人。</p> <p>このうち市内からの来場者は 26 % と、市外からの観光客の呼び込みに成功している。</p> <p>来場者が増えるたびに近隣住民との交通トラブルが増えているが、駅からのシャトルバスなどを出すなどの対策を講じてきている。</p> <p>写真コンテストを行い、最優秀作品は次年度のパンフレットやポスターに掲載するなど参加者のモチベーションを高める工夫を凝らしている。</p> <p>こども向け、ファミリー向けのイベントなどをメイン会場で開催するも、来場者の多くは 70 歳代以上の高齢者となっている。</p> <p>また、来場者は年々増加傾向にあるものの、駐車場を無料開放する上に、入場料なども取っておらず、財政面では市からの補助金に頼っているところが大きく、今後は継続性・自立性をどう高めていくかが大きな課題となるとともに、スタッフの高齢化、地元商工業との連携、近隣駐車場対策などについても検討していかなければならない。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和元年 8 月 8 日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	
	議員名	中田 哲
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田哲	
視 察 先	愛知県一宮市	
調査事項 (調査目的)	自動運転の取り組みについて	
日 時	令和元年 7 月 25 日 (木) 10 時 00 分～11 時 30 分	
視察先対応者	一宮市 議会事務局 次 長 山田均 総合政策部 政策課 課長補佐 野村秀樹 総合政策部 政策課 主 査 野末朋代	
添付資料	・自動運転の取り組みについて ・一宮市市勢要覧 ・一宮市議会概要 ・議会だより138 ・一宮市観光ガイドマップ	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	令和元年 7 月 25 日 (木) 10 時 00 分～11 時 30 分
視察先	愛知県一宮市
調査事項	自動運転の取り組みについて
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>★自動運転とは</p> <p>高精度 3 次元地図と自動運転ソフトウェアにより自車位置や周囲環境を認識し、自動運転の『目』であるカメラやセンサー等を使って障害物を検知する仕組み。</p> <p>○社会的効果⇒ 1. 利用者の利便性向上。 2. 交通事故減少し安全性高まる。</p> <p>3. 最適な走行による交通流の円滑化、渋滞緩和。</p> <p>○経済的興 ⇒ 1. 不要の加減速の低減、渋滞緩和による燃費向上や CO2 削減。</p> <p>2. 自動走行車を活用した新たなビジネスモデルの創出。</p> <p>★愛知県の動き</p> <p>現在の法律では運転者が乗車しない車両が行動を走ることが想定されていない。</p> <p>⇒『近未来技術実証特区』への提案 規制を緩和し、自動走行車両の実証可能に。</p> <p>⇒国家戦略特区に区域指定。</p> <p>第一段階 運転席にドライバーを座らせた状態での実験。(遠隔監視、遠隔操作)</p> <p>第二段階 無人走行車に対する社会的受容性の評価等。(周囲の理解が不可欠)</p> <p>第三段階 無人走行車を活用した新旅客、配送サービスの検証。</p> <p>技術的には、ほぼ遠隔操作なしで目的地まで到着できるところまで来ているが、細かな運転技術や、緊急停止した際の復旧作業など、遠隔監視員による遠隔操作が当面の間は、必要となる。近未来の実用モデルとしては、比較的幅員の広い道路を往復する公共交通や人ものを輸送する、輸送サービス業において、監視センターからの遠隔監視員をつけた状況で複数台を運行させるような運用方法が取れるのではないかと。そのためには、道公法の整備、民間保険商品の開発等の課題も立ち上がる。公道を走らない農業機械には比較的早い段階で普及が進むことも考えられる。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)